

# 大麦特報 第3号

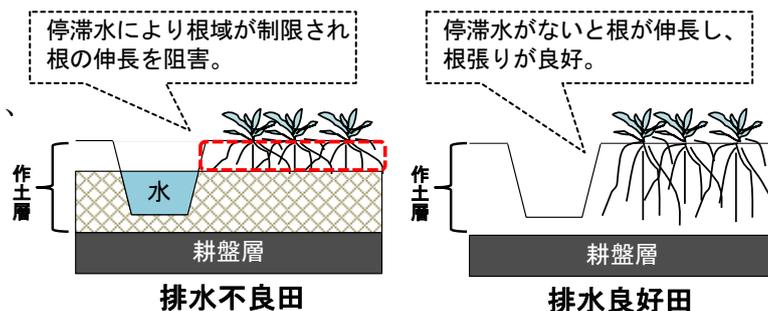
令和3年4月  
富山市農業協同組合  
富山農林振興センター

本年は、大雪の影響で昨年より生育が遅く、止葉展開期は4月1日～4日頃、出穂期は4月12日～15日頃となる見込みです。

ほ場ごとに生育状況を確認し、**赤かび病対策**を行ってください。

## 排水対策

排水不良のほ場では、根張りが悪く、登熟が悪くなります。ほ場を確認し、排水溝の手直しと排水口への連結など排水対策を徹底しましょう。



## 止葉展開期追肥

大麦専用基肥一発肥料を施肥したほ場では、原則として追肥しない。

## 赤かび病の防除

- 赤かび粒の混入限度は0.0%と厳しく定められています。
- 赤かび病防除は、ほ場ごとの出穂状況を確認し、最も効果的である穂揃期(開花始め)とその7日後の2回防除を必ず行ってください。

### 【防除体系及び農薬名】

粉剤体系	1回目:穂揃期:開花始め(4月15日～18日頃) トップジンM粉剤 DL (4kg/10a)	+	2回目:1回目散布の7日後 ワークアップ粉剤 DL (3kg/10a)
	1回目:穂揃期:開花始め(4月15日～18日頃) トップジンM水和剤 (1500倍 150㍓/10a)	+	2回目:1回目散布の7日後 ワークアップフロアブル (2000倍 150㍓/10a)

## カラスノエンドウの除去

- 実需者から、異物混入防止の徹底を求められており、特に、カラスノエンドウの種子の混入防止が重要です。
- ほ場内に侵入してからの除去は労力を要するため、ほ場周辺でカラスノエンドウを見かけたら速やかに除去しましょう。



写真 カラスノエンドウの開花

春の農作業安全運動 (4月1日～5月31日)